

創立五十周年記念春季運動会

五月二十三日（金）に、五・六年生を中心に運動会の会場設営を行いました。運動場の小石を拾ったり用具を運んだりして、自分たちの手で運動会の準備を進めました。また、たくさんの方々のためにテントを張っていただきました。おかげで全児童が直射日光を浴びずに過ごせました。会場の片付けの時にも、PTAの皆様が手助けをしていただきました。本当にありがとうございました。

五月二十五日（日）は、日ごろの練習の成果を十分に出すことができた、子どもたちの心に残る創立五十周年記念春季運動会になりました。



元氣一杯に応援する子ども達

全児童が心を一つに取り組む全校競技

開会式で一斉に入場する子ども達



創立50周年を記念した各学年演技

おおばる

NO. 4

つよく やさしく たくましく

心豊かで実践力のある子どもの育成



平成26年6月12日（木）

北九州市立大原小学校通信

校長 松本 敏彦

北九州市八幡西区町上津役東1-12-1

TEL 093-611-0856 FAX 093-611-0860



コースロープをきれいに洗う6年生



一人一人模型を使って実技をする6年生

プール清掃・スクール救命士
まもなく水泳の学習が始まります。そこで、六年生がプール清掃をしました。新しいプールにいろいろな道具を運び込み、きれいに拭きあげました。また、六年生がスクール救命士の学習として、全員が実技指導をうけました。



上手な指揮の進行係



心のこもった、閉会式での児童の言葉



思った以上に難しい旗の掲揚をする進行係



全児童の前でラジオ体操をする演技係



大きな声と動作で演技を繰り広げる応援団

子ども達は、徒競走やリレー、競争遊戯、表現といった演技だけでなく、いろいろな係の仕事も頑張りました。どの役割もなくてはならない大切なものであると自覚して、全力で取り組みました。子どもたちの大きな成長が見られました。

ごみの清掃活動

五月三十日(金)の暑い中、全校児童で、ごみ0清掃の活動を行いました。学校の外に出て、道路や公園のごみを拾いました。町をきれいにした子ども達、ごみを捨てない人になるでしょう。



道沿いのごみを拾う子ども達

大原太鼓の練習開始

三年生が、総合的な学習の時間の取り組みとして「大原太鼓」の練習を始めました。小川先生の指導のもと、子ども達はやる気満々で、めきめきと上達しています。今後が楽しみです。



本校の伝統となっている大原太鼓を練習する3年生

五十周年記念集合写真撮影

六月十日(火)に全校児童の集合写真の撮影をしました。何枚も何枚も撮る中で、子ども達から自然に笑いの声が出ました。



高所作業車から集合写真を撮影しました

6月の主要行事

11日	(水)	やまびこの会合同練習 (大原) 空き缶リサイクル授業 (4年)
12日	(木)	代表委員会 (4～6年)
13日	(金)	ごみパッカー車 (4年)
14日	(土)	土曜日授業 (学習参観、学級懇談会)
17日	(火)	上津役幼稚園との交流 (2年)
18日	(水)	眼科検診
19日	(木)	朝読み クラブ活動 (4～6年)
20日	(金)	環境体験科学学習 (4年)
23日	(月)	平和に関する指導期間 (27日まで) なかよし掃除期間 (27日まで)
24日	(火)	八幡西特別支援学校との交流学习
26日	(木)	クラブ活動 (4～6年)
27日	(金)	7校合同なかよし交流会 (大原) お昼のお話会、X線撮影、

7月の主要行事

3日	(木)	委員会活動 (5・6年)
8日	(火)	ネット規範教室 (5・6年)
10日	(木)	クラブ活動 (4～6年)
15日	(火)	個人懇談会
16日	(水)	個人懇談会
17日	(木)	給食終了、大掃除
18日	(金)	終業式
21日	(祝)	海の日
22日	(火)	夏の教室
23日	(水)	夏の教室

9月の主要行事

1日	(月)	始業式
2日	(火)	給食開始
4日	(木)	夏休み作品展 (5日まで)
16日	(火)	修学旅行 (6年生) 17日まで

北九州市子どもを育てる10か条

- ❖ 朝は明るく 笑顔で「おはよう」
- ❖ 家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」
- ❖ 子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる
- ❖ 聞く時は 子どもの目を見て 心を聴いて
- ❖ 食事が楽しい家庭にしよう
- ❖ 大切にしたい 物より体験
- ❖ まず親が きちんと実行 社会のルール
- ❖ 声かけて 地域の宝 子どもたち
- ❖ 教えよう 平和といのちと助け合い
- ❖ 子どもと夢を語り合おう

残菜ゼロ運動

六月九日から十一日まで、給食委員会が、「給食残菜ゼロ運動」を行いました。学校全体の残菜ゼロの日があるなど、大きな成果がありました。食育の推進が図れました。



「給食を残さず食べよう」と放送で呼びかける給食委員会の担当児童